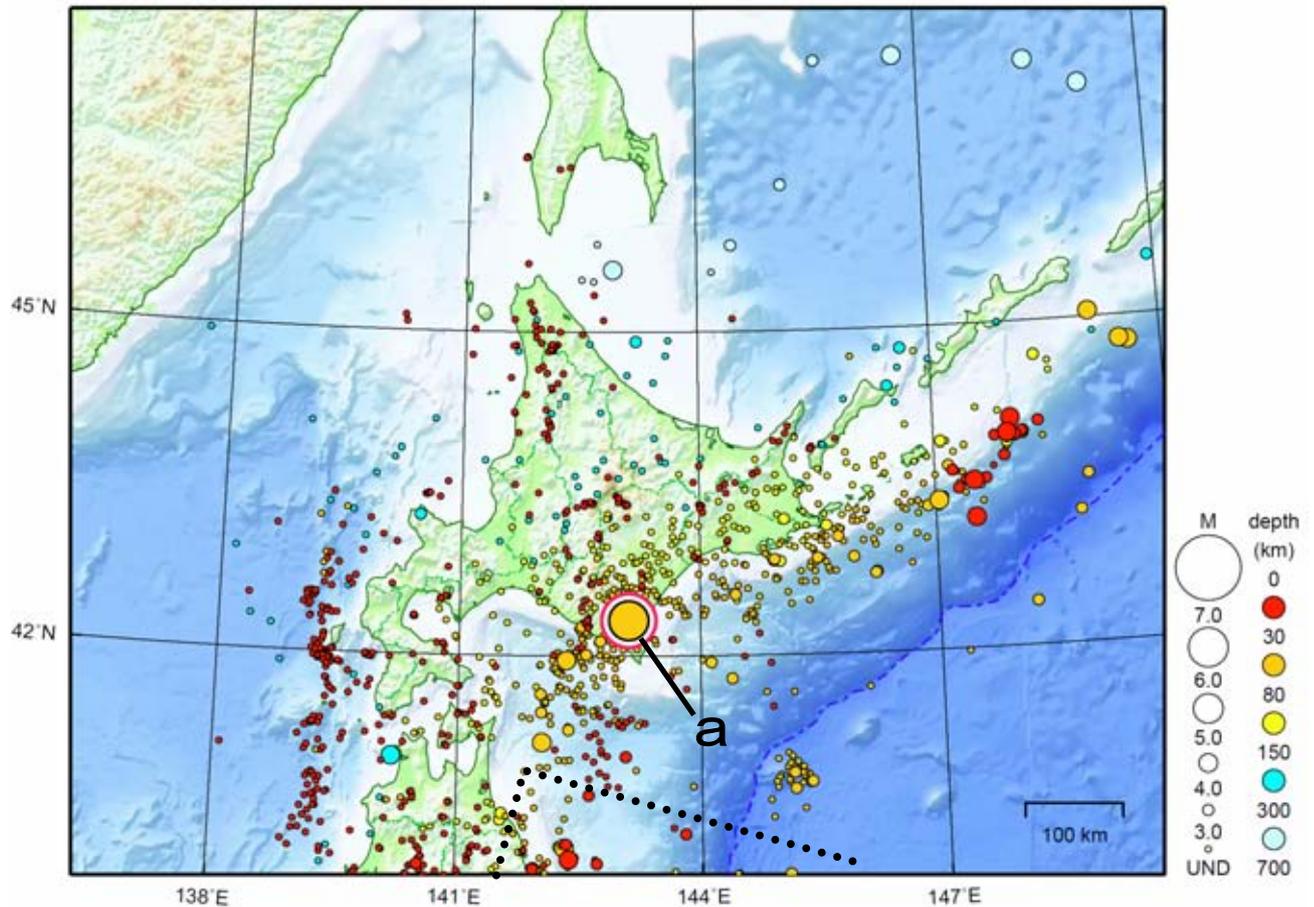


北海道地方

2012/08/01 00:00 ~ 2012/08/31 24:00

N=1876



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

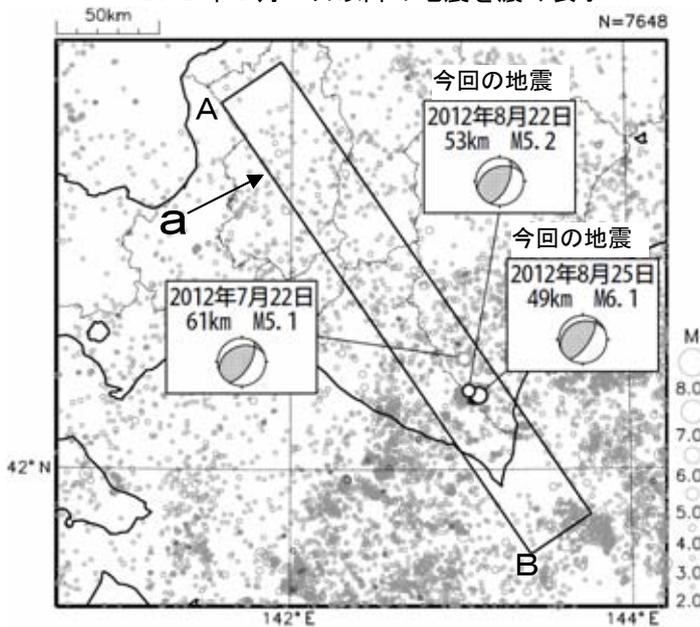
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- a) 8 月 25 日に十勝地方南部で M6.1 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。この地震の震源付近では、22 日にも M5.2 の地震（最大震度 4）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

8月22日、25日 十勝地方南部の地震

震央分布図 (2001年10月1日～2012年8月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.0$)
2012年8月1日以降の地震を濃く表示

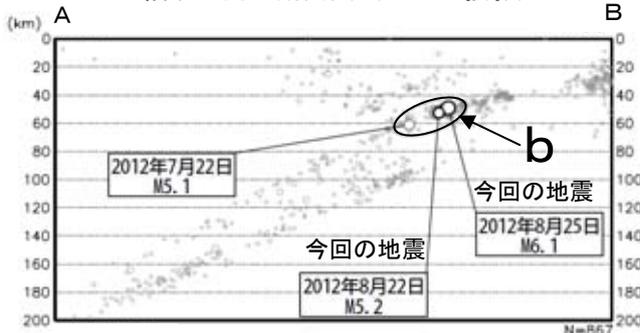


2012年8月22日10時33分に十勝地方南部の深さ53kmで $M 5.2$ の地震(最大震度4)が発生した。また、8月25日23時16分にも深さ49kmで $M 6.1$ の地震(最大震度5弱)が発生した。この2つの地震の発震機構はともに北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。なおこれらの地震の震源付近では、8月31日現在も地震活動は継続している。

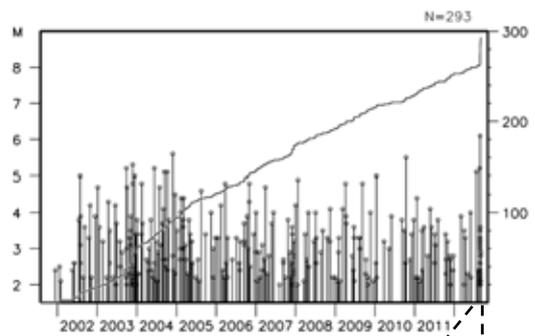
2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では2012年7月22日に $M 5.1$ の地震(最大震度4)が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 5.0$ 以上の地震が度々発生している。最大は1970年1月21日の $M 6.7$ の地震(最大震度5)で、負傷者32人や住家の全壊2棟などの被害が生じている(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

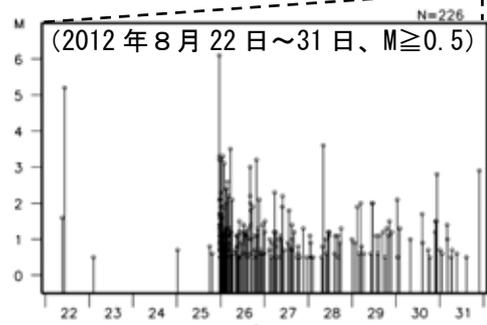
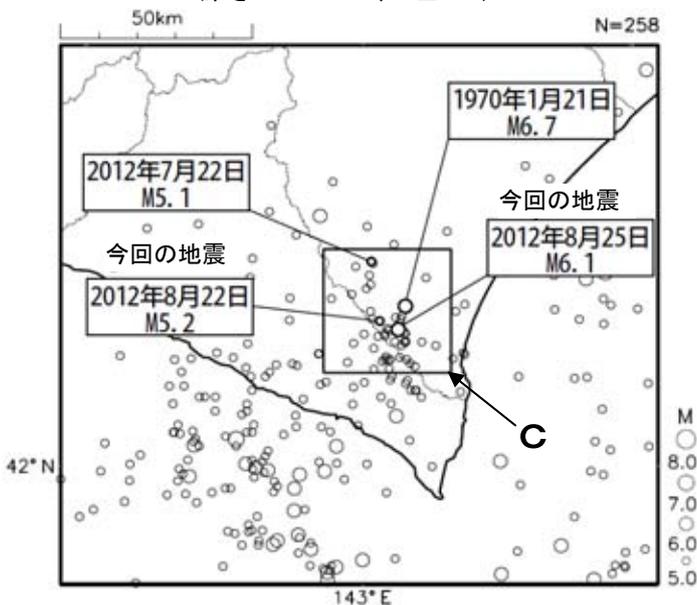
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図 (1923年1月1日～2012年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図

